

## 安全データシート

作成 : 2014年10月31日

改定 : 2022年6月10日

商品名 : 電動ファン付き ネズミ忌避剤Wパワー

### 1. 製品及び会社情報

製品の名称 : 電動ファン付き ネズミ忌避剤Wパワー  
 会社名称 : 株式会社 SHIMADA  
 住所 : 〒527-0157 滋賀県東近江市下中野町1050番地  
 担当部門 : 品質管理部  
 TEL:0749-46-1233 FAX:0749-46-1235  
 緊急連絡先電話番号 : 品質管理部  
 TEL:0749-46-1233 FAX:0749-46-1235

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類:

#### 物理化学的危険性:

爆発物 :	分類できない
可燃性／引火性ガス :	区分に該当しない
可燃性／引火性エアゾール :	区分に該当しない
支燃性／酸化性ガス :	区分に該当しない
高圧ガス :	区分に該当しない
引火性液体 :	区分に該当しない
可燃性固体 :	分類できない
自己反応性化学品 :	分類できない
自然発火性液体 :	区分に該当しない
自然発火性固体 :	分類できない
自己発熱性化学品 :	分類できない
水反応可燃性化学品 :	分類できない
酸化性液体 :	区分に該当しない
酸化性固体 :	分類できない
有機過酸化物 :	分類できない
金属腐食性物質 :	分類できない
純性化爆発物 :	分類できない

#### 健康に対する有害性:

急性毒性－経口 :	区分4
急性毒性－経皮 :	区分2
急性毒性－吸入(気体) :	区分に該当しない
急性毒性－吸入(蒸気) :	区分1
急性毒性－吸入(粉塵／ミスト) :	分類できない
皮膚腐食性／刺激性 :	区分2
眼に対する重篤な損傷性／刺激性 :	分類できない
呼吸器感作性 :	分類できない
皮膚感作性 :	区分1
生殖細胞変異原性 :	分類できない
発がん性 :	分類できない
生殖毒性 :	分類できない
生殖毒性・授乳影響 :	分類できない
特定標的臓器毒性(単回暴露) :	分類できない
特定標的臓器毒性(反復暴露) :	分類できない
吸引性呼吸器有害性 :	分類できない

環境に対する有害性:

水生環境急性有害性 : 区分1  
 水生環境慢性有害性 : 区分1  
 オゾン層への有害性 : 分類できない

GHSラベル要素:

絵表示またはシンボル:



注意喚起語 : 危険  
 危険有害性情報 : 飲み込むと有害  
 皮膚刺激  
 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
 吸入すると生命に危険  
 呼吸器への刺激の恐れ  
 水生生物に非常に強い毒性  
 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き:

安全対策 : 使用前に取扱説明書入手すること。  
 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
 取り扱い後は手をよく洗うこと。  
 この製品を使用する時に飲食または喫煙をしないこと。  
 蒸気を吸入しないこと。  
 環境への放出を避けること。  
 保護手袋、保護眼鏡、保護マスクを着用すること。  
 火花を発生しない工具を使用すること。  
 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。  
 容器を密閉しておくこと。  
 内容物が漏出した場合は、眼、皮膚、衣類に付けないこと。  
 皮膚刺激または発疹が生じた場合は医師の診断、手当を受けること。  
 暴露した場合または気分が悪い場合は医師に連絡すること。  
 気分が悪い時は医師の診断、手当を受けること。  
 指定された消火剤を使用すること。  
 内容物が漏出し、飲み込んだ場合は医師に連絡すること。口をすすぐこと。  
 内容物が漏出し、皮膚又は髪に付着した場合は直ちに付着した衣類を全て脱ぎ取り除く。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。刺激がある場合は、医師の診断を受ける。  
 内容物が漏出した場合は漏出物を回収、換気をよくすること。  
 保管 : 涼しい所、換気の良い場所で保管すること。  
 廃棄 : 内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

単一/混合物 : 混合物  
 化学名または一般名 : 該当情報なし  
 化学特性(化学式等) : 該当情報なし  
 濃度または濃度範囲 : 該当情報なし  
 分子式(分子量) : 該当情報なし

成分：

No.	成分名	化学名	CAS No.	含有率(%)
1	JEE-GH04 (ゲル化剤)	カラギーナン(45%)	9000-07-1	非開示
		ジュランガム(25%)	71010-52-1	
		食品素材(30%)	—	
2	マーホソCT-10(界面活性剤)	ホリオキシエチレンセチルエーテル	68439-49-6	非開示
3	マーホソHC-60A(界面活性剤)	ホリオキシエチレン硬化ヒマシ油エーテル	61788-85-0	非開示
4	ネオコール (溶剤)	エタノール(88.5%)	64-17-5	非開示
		水(12.4%)	—	
		イソプロピルアルコール(1.1%)	67-63-0	
		その他(1.0%)	—	
		安息香酸デナトニウム(0.0012%)	3734-33-6	
5	SEESORB(紫外線吸収剤)	2-ヒドロキシ-4-メキソベンゾフェノン	131-57-7	非開示
6	パラオキシ安息香酸メチル(防腐剤)	4-ヒドロキシ安息香酸メチル	99-76-3	非開示
7	食用青色1号	アシッドブルー9	3844-45-9	非開示
8	食用黄色4号	アシッドエロー23	1934-21-0	非開示
9	プロピレングリコール	プロピレングリコール	57-55-6	非開示
10	ニゴリザイ	ビニルピロリドン	25086-29-7	非開示
11	香料	しょう脳(1~5.0%)	76-22-2	3.0%
		酢酸ベンジル(2.5%)	140-11-4	
12	AITC	イソチオシアン酸アリル	57-06-7	0.1%

No.	化審法 官報公示整理番号	安衛法 官報公示整理番号	安衛法 通知物質	化管法 (PRTR法)	毒劇法
1	対象外(天然物)	—	—	—	—
2	7-97	公表化学物質	—	—	—
3	8-603	公表化学物質	—	—	—
4	エタノール:(2)-202 イソプロピルアルコール:(2)-207	公表化学物質	名称等を通知すべき 危険物及び有害物 (法第57条の2、施 行令第 18条の2別表第9) (政令番 号:9-61)	—	—
5	(4)-130	公表化学物質	262	第3種監視化 学物質(法第2 条第6項)(政 令番 号:3-107)	—
6	(3)-1585	公表化学物質	—	第一種指定化 学物質 No.334	—
7	(5)-1632	公表化学物質	—	—	—
8	(5)-1402	公表化学物質	—	—	—
9	(2)-234	公表化学物質	—	—	—
10	(6)-157	公表化学物質	—	—	—
11	非開示	非開示	非開示	非開示	非開示
12	(2)-1689	公表化学物質	—	—	—

4. 応急措置

吸入した場合：

蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し呼吸しやすい姿勢で休息させること、気分が悪い時には医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合：	外観に変化が見られたり刺激痛がある場合、気分が悪いときには医師の診断を受けること。 内容物が漏出し、皮膚に付着した場合は、大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。衣類に付着した場合は、直ちに全ての付着した衣類を取り除くこと。
目に入った場合：	内容物が漏出し、目に入った場合は、直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。 内容物が漏出し、目に入った場合は、できるだけ早く医師の診断を受けること。
飲み込んだ場合：	内容物が漏出し、誤って飲み込んだ場合は、大量の水を飲み、安静にして直ちに医師の診断を受けること。 内容物が漏出し、誤って飲み込んだ場合は、嘔吐物が気管に流入しないように注意する。 内容物が漏出し、誤って飲み込んだ場合は、医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。
応急措置をする者の保護：	適切な保護具（保護メガネ、防護マスク、手袋等）を着用する。 換気を行う。

---

## 5. 火災時の措置

消火剤：	粉末、泡沫、炭酸ガス、乾燥砂など
使ってはならない消火剤：	水
火災時の特有の危険有害性：	床が滑りやすい 火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法、消火を行うものの保護：	適切な保護具（耐熱手袋、保護メガネ、保護マスクなど）を着用する。 可燃性のものを周囲から素早く取り除く。 指定された消火剤を使用すること。 消火活動は風上より行う。 周辺を立ち入り禁止にして関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。

---

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：	作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグルなど）を着用する。 周辺を立ち入り禁止にして関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。 付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。 着火した場合に備えて適切な消火器を準備する。
環境に対する注意事項：封じ込め及び浄化の方法/機材：	河川への排出等により環境への影響を起さないように注意する。 付着物、廃棄物などは関係法規に基づいて処置すること。 漏出物は密封できる容器に回収し安全な場所に移す。 スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛土などで臭気の低減を図る。水での洗浄なども河川への排出、環境汚染を引き起こすおそれもあり注意する。 衝撃、静電気に備えて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。

---

## 7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い	
技術的対策：	換気のよい場所で取り扱う。
安全取り扱い注意事項：	内容物を取り出さない。 皮膚、粘膜、または着衣に触れたり目に入らぬよう保護具を着用する。 取り扱い後は手・顔等は良く洗い休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。

接触回避 :	周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。 工具は火花防止型のものを使用する。 作業中は帯電防止型の作業服、靴を使用する。 パレット及び他の保管物からの着臭防止及び毒物の混入防止を図る。 静電気対策のため装置などを設置し、電気機器類は防爆型(安全増型)を使用する。
生成対策 :	本製品の有効成分は強い刺激臭があり、蒸気が目や鼻などを刺激する 場合があるため、製品開封時及び取り扱い時に顔を近づけない。
保管	
安全な保管条件 :	直射日光を避け、冷暗所に保管する。 火気、熱源から遠ざけて保管する。 可燃性があるので、火花、火炎の接近は避ける。 水分、薬品等が付かないようにする。
安全な容器包装材料 :	密閉できる容器

## 8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度 :	該当情報なし
許容濃度 :	日本産衛学会 該当情報なし ACGIH 該当情報なし
設備対策 :	排気装置を付けて蒸気が滞留しないようにする。 取り扱いの場所近くには高温、発火源となるものが置かれなような 設備とすること。
保護具 :	
呼吸器の保護具 :	マスク
手の保護具 :	有機溶剤または化学薬品が浸透しない材料の手袋を着用する。
目の保護具 :	取り扱いには保護眼鏡を着用すること。
皮膚及び身体の保護具 :	取り扱う場合には皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。 また化学品が浸透しない材質であることが望ましい。
その他 :	静電気発生を防止するために通電靴を着用する。

## 9. 物理/化学的性質

外観	
物理的状態 :	ゲル状
色 :	青色
臭い :	特有の強い刺激性のある香気を有する
pH :	該当情報なし
融点/凝固点 :	該当情報なし
可燃性 :	該当情報なし
沸点、初留点、 沸騰範囲 :	該当情報なし
引火点 :	該当情報なし
自然発火温度 : (発火点)	該当情報なし
燃焼または爆発範囲の 上限/下限 :	該当情報なし
蒸気圧 :	該当情報なし
蒸気密度 :	該当情報なし
比重(相対密度) :	該当情報なし
粒子特性 :	該当情報なし
水に対する溶解度 :	該当情報なし
水に対する溶解性 :	該当情報なし
動粘性率 :	該当情報なし
溶解度 :	該当情報なし
溶媒に対する溶解度 :	該当情報なし
溶媒に対する溶解性 :	該当情報なし
オクタノール/水分配係数 :	該当情報なし
分解温度 :	該当情報なし

## 10. 安定性及び反応性

反応性：	通常の条件下では安定で、自己重合性はない。
化学的安定性：	通常の取り扱いでは安定。
危険有害反応可能性：	特記すべき反応性はない。
避けるべき条件：	可燃性があるので、火炎の接近は避ける。 加熱、燃焼あるいは酸アルカリとの接触は避ける。
混触危険物質：	強力な酸化剤
危険有害分解生成物：	自己分解により有毒ガスを発することはない。

## 11. 有害性情報

急性毒性－経口：	データなし
急性毒性－経皮：	データなし
急性毒性－吸入(気体)：	データなし
急性毒性－吸入(蒸気)：	データなし
急性毒性－吸入(粉塵／ミスト)：	データなし
皮膚腐食性／刺激性：	データなし
眼に対する重篤な損傷性／刺激性：	データなし
呼吸器感作性：	データなし
皮膚感作性：	データなし
生殖細胞変異原性：	データなし
発がん性：	データなし
生殖毒性：	データなし
生殖毒性・授乳影響：	データなし
特定標的臓器毒性(単回暴露)：	データなし
特定標的臓器毒性(反復暴露)：	データなし
吸引性呼吸器有害性：	データなし

## 12. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境急性有害性：	データなし
水生環境慢性有害性：	データなし
残留性・分解性：	データなし
生体蓄積性：	データなし
土壤中の移動性：	データなし
オゾン層への有害性：	データなし
その他：	漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与えるおそれがあるので取り扱いに注意する。

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：	容器、機器装置等を洗浄した排水等は地面や排水溝へそのまま流さないこと。 排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても廃棄物の処理および清掃に関する法律に従って処理を行うか委託をすること。
汚染容器および包装：	許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。 空容器は内容物を完全に除去してから処分する。

## 14. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号：	なし
品名(国連輸送名)：	なし

国連分類(輸送における危険有害性クラス) :	国連の分類基準に該当しない
副次危険 :	なし
容器等級 :	なし
海洋汚染物質 :	なし
MARPOL73/78附属書Ⅱ及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質	なし
<b>国内規制</b>	
海上規制情報 :	船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空規制情報 :	航空法に定められている運送方法に従う。
陸上規制情報 :	消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
特別な安全上の対策 :	なし
その他(一般的)注意 :	なし

## 15. 適用法令

安衛法 :	名称等を通知すべき危険物及び有害物 エタノール(≥0.1wt%)、イソプロピルアルコール(≥0.1wt%) しょう腦(≥1wt%)、酢酸ベンジル(≥1wt%)
PRTR法 :	第一種(政令番号:1-334) 4-ヒドロキシ安息香酸メチル 第二種(政令番号:2-20) 酢酸ベンジル
毒劇法 :	該当しない
労働基準法 :	該当しない
化審法 :	「3. 組成及び成分情報」を参照
消防法 :	非危険物
大気汚染防止法 :	該当しない
水質汚濁防止法 :	該当しない
水道法 :	該当しない
下水道法 :	該当しない
海洋汚染防止法 :	該当しない
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 :	該当しない

## 16. その他の情報

本SDSは、JIS Z 7252/7253 : 2019に準拠して作成している。

引用文献 :	[1] NITE GHS分類結果 [2] 原料メーカーのMSDS [3] OECD SIDS Initial Assessment Report [4] IPCS INCHEM EHCs: Environmental Health Criteria Monographs [5] CERl:「化学物質安全性(ハザード)評価シート」
その他 :	記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。また、記載事項は通常の取り扱いを対象としたものですので、特別な取り扱いをする等の場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。